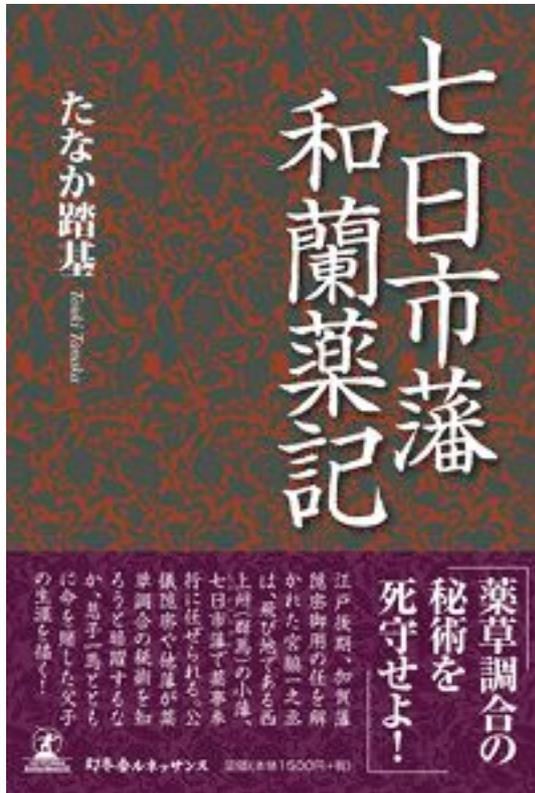


たなか踏基、待望の時代小説『七日市藩和蘭薬記』刊行!!
上州・七日市藩での薬草開発に心血を注いだ男を描いた力作長編



四六判上製本（304 ページ）

定価（本体 1500 円 + 税）

ISBN978-4-7790-0381-3 C0093 ￥1500E

著者紹介 たなか踏基（たなか・とうき）

山形県山形市生まれ。埼玉県上尾市在住。長野県立松本深志高校・新潟大学工学部卒。日本化薬(株)で化学技術を専門とする。『雪』で京都大学新聞社第三回懸賞小説入選（選者 伊藤聖、野間宏）。主な著書に『進化する化学技術』（工業調査会）SCE-net 共同編集、『奇妙な喫茶店』（文芸社）、『奇妙な猫たち』（同）、『奇妙な受精卵』（幻冬舎ルネッサンス）、『奇妙な羽衣伝説』（同）など。

薬草調合の 秘術を死守せよ！

江戸後期、加賀藩隠密御用の任を解かれた宮脇一之丞は、飛び地である西上州（群馬）の小藩、七日市藩で薬事奉行に任ぜられる。公儀隠密や他藩が薬草調合の秘術を知ろうと暗躍するなか、息子一馬とともに命を賭した父子の生涯を描く！

注文書	貴店印	定価 1575 円 (本体 1500 円 + 税)	幻冬舎ルネッサンス ISBN978-4-7790-0381-3
		冊	『七日市藩和蘭薬記』 たなか踏基
	冊		お客様欄（氏名・住所・連絡先）

TEL:03-5411-6710 FAX:03-5411-6667